

## CQ1 下肢静脈瘤患者で無症候性の場合、圧迫療法は有用か？

パブリックコメント用 改変不可

推奨 1	クラス	エビデンスレベル			
下肢静脈瘤患者において無症候性の場合には、圧迫療法を原則的に施行しない。	II a	C (コンセンサス)			
参考文献	研究形式	対象	介入	対照群	結果
Palfreyman 2009	システマティックレビュー	23 研究(RCT11, NRCT12) 2 編のガイドライン	弾性 ストッキング 着用あり	弾性 ストッキング 着用なし	弾性ストッキングが下肢静脈瘤に有益かどうかは明らかではない。進行を抑制し、再発を予防する効果を示すエビデンスはない。
Knight 2021	システマティックレビュー	13 研究 潰瘍治癒後または活動性潰瘍を除く下肢静脈瘤 1021 例	弾性 ストッキング 着用あり	弾性 ストッキング 着用なし	弾性ストッキングは下肢静脈瘤に対し単独または初期治療として有効かどうかは明らかではない。進行予防に関しては検討されていない。
Kostas 2010	RCT	73 例 下肢静脈瘤術後の対側肢	弾性 ストッキング 着用あり	弾性 ストッキング 着用なし	CEAP 分類の臨床分類で新たな臨床徴候が出現した患者を有意に認めた(p<0.01)が、研究開始時ストッキング着用 34 例(46%)から、終了時(5 年後)24 例(33%)とアドヒアランスの問題を認めた。
Thaler 2001	RCT	42 例 妊娠 12 週未満の妊婦	弾性 ストッキング 着用あり	弾性 ストッキング 着用なし	静脈瘤出現予防について有意差はなかった。SFJ における逆流出現は弾性ストッキング着用群が非着用群に比べ有意に低値であった(p=0.047)。

CEAP 分類: Clinical-Etiology-Anatomy-Pathophysiology Classification、臨床・病因・解剖・病理分類

NRCT: non-randomized controlled trial、非ランダム化試験

RCT: randomized controlled trial、ランダム化比較試験

SFJ: sapheno-femoral junction、伏在大腿静脈接合部

## 文献

Palfreyman SJ, Michaels JA: A systematic review of compression hosiery for uncomplicated varicose veins. *Phlebology* 2009; 24 Suppl 1: 13-33

Knight Nee Shingler SL, Robertson L, et al: Graduated compression stockings for the initial treatment of varicose veins in people without venous ulceration. *Cochrane Database Syst Rev* 2021,7(7):CD008819.

Kostas TI, Ioannou CV, Drygiannakis I, et al : Chronic venous disease progression and modification of predisposing factors. *J Vasc Surg* 2010; 51: 900-907

Thaler E, Huch R, Huch A, et al: Compression stockings prophylaxis of emergent varicose veins in pregnancy: a prospective randomised controlled study. *Swiss Med Wkly* 2001; 131: 659-662